

くらみかわのぼりいせき
倉見川登遺跡

寒川町No.70 遺跡

調査期間 2004年～継続中

所在地 寒川町倉見

時代 近世・中世・奈良・平安・古墳
弥生

調査原因 国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所による一般国道468号（さがみ縦貫道路）建設事業に伴う倉見地区埋蔵文化財発掘調査

遺跡位置 寒川町の北西にあたり、相模川と相模線に挟まれた自然堤防上に立地しています。



主な調査成果

本遺跡から古墳時代後期の古墳が4基確認されており、南に位置する倉見川端遺跡や、宮山中里遺跡でも後期古墳がみられることから、当遺跡周辺は墓域だった事が明らかになりました。

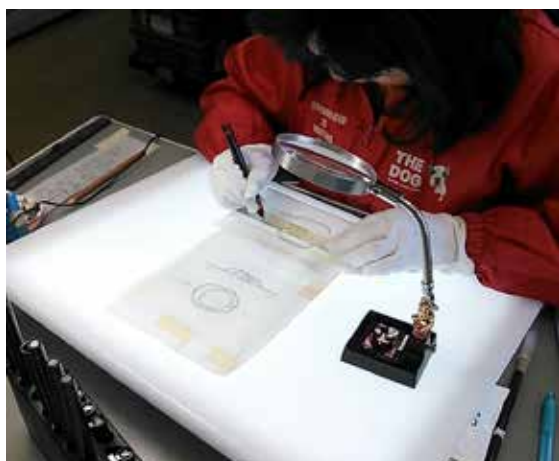
弥生時代後期～古墳時代前期では竪穴住居が狭い面積ながらも多く確認されており、この時期は居住域であった事がわかりました。相模川右岸の自然堤防上にみられる集落の様相について、今後の整理で明らかにしていきたいと思えます。



2区 古墳検出状況



耳環出土状況



トレース作業



遺物実測作業